

一般社団法人地域医療・福祉研究所

第5回社員総会

2018年度事業報告と2019年度事業計画

決定集



一般社団法人 地域医療・福祉研究所

2019年6月

【目次】

1	はじめに	1
2	第1号議案 アルスヴィータ 2018年度事業報告並びに決算報告	2
	2.1 一般社団法人地域医療・福祉研究所のめざすもの	
	2.2 2018年度の事業活動の概要	
	2.3 ARSVITAの運営	
	2.4 2018年度事業報告	
	2.5 2018年度事業活動の評価	
	2.6 2018年度決算報告	
3	第2号議案 アルスヴィータ 2019年度事業計画並びに予算案	11
	3.1 地域医療・福祉をめぐる情勢の特徴	
	3.2 2019年度事業活動の重点	
	3.3 ARSVITAの運営	
	3.4 2019年度事業計画	
	3.5 2019年度予算	
	3.6 2019年度活動計画	
4	第3号議案 役員改選	19
	【資料】	
	2018年度活動日誌	20

1. はじめに

1.1 一般社団法人地域医療・福祉研究所第5回社員総会の開催について

一般社団法人地域医療・福祉研究所第4回社員総会を以下の日程で開催します。

1. 日 時 2019年6月27日 10時半から12時30分
2. 場 所 一般社団法人地域医療・福祉研究所 事務所
〒164-0013 東京都中野区弥生町1-54-17-101
3. 議 案
第1号議案 2018年度事業報告並びに決算報告、監査報告承認の件
第2号議案 2019年度事業計画並びに予算案承認の件
第3号議案 役員選任の件

1.2 今総会の意義と任務

一般社団法人地域医療・福祉研究所(以後アルスヴィータ¹)は、発足から5年目を迎えます。当初掲げた創立期5カ年計画の最終年度となり、創業期から本格的な事業の発展期への転換が求められます。

アルスヴィータは、5カ年計画で

- (1) アルスヴィータの理念の社会的認知を広げる
- (2) 住民主体の医療・福祉事業を共同して研究・実践する自治体や団体を広げる
- (3) 職員、研究員の確保と育成をすすめる
- (4) 経営的基盤を構築する

を目指して活動してきました。

本総会は、これらの到達点を評価し、創立期5カ年計画の総仕上げの年の事業課題と目標を決定することを任務とします。

特に第5期は、

- (1) 自治体との協働で新たな住民参画のコミュニティ福祉モデルをつくる
- (2) 地域での調査・研究事業を継続するとともに、会員の事業に資するコンサルティング事業を拡大する
- (3) 過去4年間で蓄積してきた理論研究活動を論文・書籍化して自治体や協同組合と実践活動に着手する

の3点を重点課題とします。

¹ アルス(ars)は、実践、技、とりくみを意味するラテン語で、ヴィータ(vita)はいのち、活力を表します。「いのちのとりくみ」が含意で、一般社団法人地域医療・福祉研究所の愛称としています。

2. 第1号議案 アルスヴィータ 2018年度事業報告並びに決算報告

2.1 一般社団法人地域医療・福祉研究所のめざすもの

日本の社会が急速に超高齢化、人口減少に向かう中で、住民がいのちとくらしを守りながらまちに住み続けることができるかどうか焦眉の課題になっています。

同時に、新自由主義経済政策とグローバリズムのもと社会保障制度の変化や相次ぐ社会保障費の削減、医療・介護などの自己負担増が行われ、国民の各層に格差と貧困、健康破壊や暮らしの危機が広がっています。

こうした情勢のもとで、地域に必要な保健・医療・福祉のサービスを確保できるかどうか、地域社会の大きな課題になっています。

アルスヴィータは、この保健・医療・福祉の問題を地域住民とともに解決することを目的に設立されました。

アルスヴィータは、その目的を達成するため、広く地方自治政策、地域活動、協同組合運動、医療・介護事業に関心を有する経済・社会・政治・法律・文化・自然科学にかかわる研究者と実践家の結集をめざしていきます。

とりわけ、地方公共団体や協同組合、医療法人、社会福祉法人、NPO 法人など非営利組織を中心に、その政策と事業に資する活動をすすめ、同時にその担い手の確保と育成を重視しています。

2.2 2018年度の事業活動の概要（重点活動の総括）

2018年度は、以下の3点を重点として活動しました。

- (1) 沖縄県竹富町での「ばいぬ島共生意識・要求調査」の実施
- (2) 医療福祉生協の地域活動と組織づくりの理論と手法の確立
- (3) ARSVITAの研究・経営的基盤の強化

それぞれについて簡潔に総括します。

(1) 「ばいぬ島共生意識・要求調査」の実施

- ① 10～12月にかけて「ばいぬ島共生意識・要求アンケート調査」を実施し、40.3%の回収率で、信頼性の高い調査結果となりました。
- ② 3～4月にかけてアンケート調査の報告会と意見交換会「ばいぬ島“結”カフェ」を8地域で開催しました。それらも含めた最終結果を「ばいぬ島共生意識・要求調査報告書」にまとめ、その内容を町長と町幹部に直接報告しました。
- ③ 「ばいぬ島共生意識・要求アンケート調査」の実績が評価され、2019年度竹富町地域共生社会づくり事業を受託し、「ゆいまーるワークショップ」を開催することになりました。

(2) 医療福祉生協の地域活動と組織づくりの理論と手法の確立

- ① 9月から、けいはん医療生協の寝屋川地域協議会の地域活動と組織づくりの支援を行い、ARSVITAが開発した「出あい・ふれあい・支えあい」の「三つめあいメソッド」を活用した生協強化月間に協力しました。
- ② 2015年以降実施してきた医療福祉生協の地域活動と組織づくりの実態分析をまとめて、新たな医療福祉生協組織論として理論化した「新自由主義に対抗する医療福祉生協のまちづくり・組織論」を試論として完成させました。
- ③ 2019年度は、「新自由主義に対抗する医療福祉生協のまちづくり・組織論」の書籍化、志ある医療福祉生協と協働して理論の検証とブラッシュアップにとりくみます。

(3) ARSVITAの研究・経営的基盤の強化

- ① 新しく高橋智憲(前ながおか医療生協専務理事)氏を研究員に迎え、福祉クラブ生協の施設事業推進プロジェクトの支援を受託しました。
- ② 自主的研究分野も、医療・福祉や協同組合分野だけでなく地方財政、社会福祉法人経営、政府や自治体のデータを活用した「地域診断」の研究などに広がりました。
- ③ 事業規模が初めて1,000万円を超え、初めて黒字を計上しました。しかし、累積欠損が500万円を超える状況は変わっておらず、設立時に掲げた5カ年での創立期欠損の解消は難しい状況です。

2.3 ARSVITAの運営

(1) 会員の状況について

- 2018年度末の会員数は、団体会員5、個人会員40人です。
- 今年度の新加入は、個人会員3名でした。
- 会員数の推移は以下の通りです。

年度	正会員				賛助会員				合計
	個人		団体		個人		団体		
	実数	増減	実数	増減	実数	増減	実数	増減	
2015年度	16	-	2	-	11	-	2	-	31
2016年度	19	+3	2	0	14	+3	3	+1	38
2017年度	21	+2	2	0	16	+3-1	3	0	42
2018年度	21	0	2	0	19	+3	3	0	45

(2) 理事会の運営

- 2018年度は、定例理事会を3回開催しました。
- 理事会は、日野理事長の議長のもと、事務局も参加して事業の進捗や理論研究の到達状況、今後の方向性などについて論議しました。

(3) 事務局の活動

- 適宜事務局会議を開催し、受託事業の任務分担に沿った業務点検や自主研究の到達状況の交流、発表等を行いました。
- 顧問会計士を訪問しての経理実務の習得を行いました。
- 外部研究者との連携づくりや(公社)「地域医療振興協会」の研究会に参加しました。

2.4 2018年度事業報告

(1) 調査・研究事業

1) 自治体等からの調査研究受託および助成事業

① 竹富町での「ばいぬ島共生意識・要求調査」を受託実施

- 2018年1月の第1次現地視察(波照間島、小浜島)と4月の第2次視察(西表島の2つの地区、黒島)を踏まえて、竹富町での医療福祉課題についての提言とアルスヴィータの支援内容について提案を行いました。
- 6月にアルスヴィータが提案した企画を「沖縄県地域支え合い体制づくり推進事業」の補助金対象事業に申請し、県の認可を受けて、9月の竹富町議会で「ばいぬ島共生意識・要求調査実施計画」として実施が決定されました。
- ばいぬ島共生意識・要求調査は、①「ばいぬ島共生意識・要求アンケート調査」と②「ばいぬ島“結”カフェ」の開催の2つのとりくみを内容としています。
- 8月に佐藤英仁理事(東北福祉大学准教授)とともに竹富町を訪れ、3度目の視察とアンケートの基本設計、アンケートの実施計画を協議しました。
- 9月に竹富町福祉支援課とアンケートとワークショップの実施計画を作成。各地区の公民館長さんなどと連絡を取り、集落ごとのアンケート記入会、ワークショップ開催のお願いをしました。
- 10月10日～12月13日まで3次にわたって19地区、30回のアンケート記入会を開催し、351名が参加しました。アンケート回収数は、総数859で対象者の40.3%となりました。
- この調査には、ARSVITAの呼びかけに応じて、沖縄医療生協の城間愛子まちづくり推進部長、けいはん医療生協の平岡賢明室長、宮崎浩二主任がボランティア調査員として参加し、町民と交流しながら調査活動を行いました。

- 12月から1月にかけて佐藤英仁理事にアンケート結果の集計・分析をお願いし、その結果をもとに2019年2月5日に竹富町福祉支援課とアンケート調査結果分析についての協議を行いました。
- その協議をもとにアンケート調査結果をまとめた「ばいぬ島共生意識・要求アンケート調査結果報告書」を作成し、「ばいぬ島“結”カフェ」の討議資料としました。
- 3月4日～4月23日まで7地区でワークショップ「ばいぬ島“結”カフェ」を開催し、125名の参加がありました。アンケート結果への感想や意見、日頃の思いが出し合われ、熱心な討論が行われました。
- 4月24日に竹富町役場でばいぬ島共生意識・要求調査の報告会を行いました。西大柵町長はじめ、各部局の幹部が参加し報告を受けた意見交換がおこなわれました。
- 5月にその結果をまとめた報告書(行政用40部、一般普及版120部)を作成しました。

② 南大東村社会福祉協議会の現状の調査と課題分析

- 2016年度に作成を開始した「南大東村高齢者福祉・介護計画」(2017～2021)の実施状況の調査を行いました。計画そのものは、村の意向で未だ最終決定となっておりませんが、計画の実施主体となる南大東村社会福祉協議会の現状を視察・調査することが目的です。
- 2018年12月14～17日に南大東村社会福祉協議会伊佐隆夫事務局長(9月まで副村長)、保健センターの岩井田せつ子看護師、町役場福祉民生課の大城盛明課長、宮良美津記主事、宮平美智子会計課長らと面談し、社協の事業と村の高齢者福祉・介護計画の進捗について伺いました。
- 村社会福祉協議会の伊佐事務局長から事業と経営の現状について説明を受け、経営や今後の方向性についてアドバイスが欲しいとの要請があったので、12月に「うふあがり共生元気むら」づくりに関する2019年度南大東村社会福祉協議会の事業について」の提案を行いました。

2) 会員団体等からの調査研究受託

① けいはん医療生協の「幹部育成研修:けいはん特9」を受託実施

- 2017年にけいはん医療生協から受託した「幹部育成研修:けいはん特9」を引き続き実施しました。
- 2018年5月には、卒業研修として愛知県の南医療生協、新潟県のながおか医療生協、新潟医療生協、社会副福祉法人亀田郷芦沼会の視察を行い、職員や組合員、利用者さんと交流しました。
- 7月に修了試験と修了式を開催し、全員に修了証書を授与しました。また、理事会の求めに応じて参加者の評価票を作成して送付しました。

② けいはん医療生協の組織活動支援の受託実施

- けいはん医療生協より生協の組織活動の強化と生協強化月間の支援についての要請があり、8月からARSVITAの医療福祉生協組織論に基づく支援を行いました。
- 9月から12月までけいはん医療生協寝屋川協議会の生協強化月間のとりくみにARSVITAが開発した「出あい・ふれあい・支えあい」の「三つめあいメソッド」を活用した支援を行いました。

③ 福祉クラブ生協の「施設事業推進プロジェクト」の支援を受託実施

- 2018年11月より福祉クラブ生協理事会が設置した、「施設事業推進プロジェクト」の支援を受託し、9ヶ月間支援をすることになりました。
- 小規模多機能型居宅介護、小規模と認知症のデイサービス、有料老人ホームの運営のあり方や経営改善の方向性、ワーカーズコレクティブという働き方の特徴とその活かし方などについて研究と提言を行なっています。
- ARSVITAのつながりを活かして視察先を紹介し、実例に学ぶとともに、それぞれの事業や中間総括についてのアセスメントを提出しました。

3) その他の調査研究事業

① 沖縄県との懇談

- 8月と3月の2回、沖縄県庁の子供生活福祉部、高齢者福祉介護課、福祉政策課を訪問し、沖縄県の介護保険事業や離島の地域共生事業の状況についてお伺いし、同時に竹富町でのばいぬ島共生意識・要求調査のとりくみの報告を行いました。

② 沖縄県久米島町社会福祉協議会の視察

- 3月に沖縄県久米島社会福祉協議会の吉本景太事務局長を訪問し、久米島の福祉・介護サービスの状況等についてお伺いしました。
- 吉本事務局長の紹介で、久米島で介護事業を展開している株式会社「生活ing(暮らしんぐ)」の宇根哲志社長を訪問し、「介護居酒屋」などのとりくみのお話を伺いました。

③ 2018年度「診療所生協法人経営実績調査」を実施

- 2016年度から行なっている医療福祉生協診療所の経営実態調査を今年度から「診療所生協法人経営実績調査(clinic co-op management survey:CCMS)」として行いました。
- 医療福祉生協連に加入している46診療所法人に調査協力を依頼し、34法人から総代会の資料提供を受けました(74%)。集計結果をそれぞれの法人ごと分析し、9月末に全法人に郵送しました。

④ 『地域診断』の技法の習得とそれに基づく調査活動

- 地域医療振興協会、ヘルスプロモーション研究センターの「地域診断」の手法を学びました。

- 「厚生労働省統計一覧」「公衆衛生ネット」「国保データベースシステム(KDB)」などを活用して健康や医療、福祉に関する市町村別のデータの抽出方法を活用して資料を作成し、関係する自治体や協同組合に提供しました。
 - 2019年4月19日公益社団法人地域医療振興協会の2019年度ヘルスプロモーション研究センター主催の「今こそ地域診断」に参加する予定です。
- ⑤ **2018年診療報酬、介護報酬等の改定に関する調査・研究**
- 2018年度の医療、介護、障害者にかかる報酬制度の内容を関係する自治体や協同組合に発信し、講師活動等を行いました。
- ⑥ **自主研究(1):「寄りあいワークショップ」の研究**
- ARSVITAは、まちづくりの手法の研究を進めていますが、今年度は山浦晴男先生提唱の「寄りあいワークショップ」の研究をしました。
 - 「地域再生入門～寄りあいワークショップの力」(2015年:ちくま新書)、「保健師ジャーナル特集『寄りあいワークショップの活用』」(2018年5月号:医学書院)、「質的統合法入門」(2012年:医学書院)などの文献研究を行い、2019年2月に山浦晴男先生と懇談を行いました。
 - 懇談では、寄りあいワークショップの「内発型地域再生手法」がARSVITAの考える福祉のサービスづくりに応用できるかどうかについて話し合い、2019年6月から徳島県阿南市加茂谷地区で行われる「あわの農山漁村魅力創生事業」の寄りあいワークショップへの視察参加を要請しました。県との協議の上ARSVITAの研究員の参加が許可されました。
- ⑦ **自主研究(2):「自治体戦略2040構想」の研究**
- まちづくりの研究課題として総務省の「自治体戦略2040構想研究会」の二次にわたる報告書を分析研究しました。
 - 自治体問題研究所(自治体研究社)の「地域づくりの経済学入門」(2005年:岡田知弘)、「『自治体戦略2040構想』と地方自治」(2019:白藤博行、岡田知弘、平岡和久)「人口減少時代の自治体政策」(2018年:中山徹)などの文献研究を行いました。
- ⑧ **自主研究(3):「OODA(ウーダ)ループ」の研究**
- 組織マネジメントの理論と手法の研究としてジョンボイドの「OODA(ウーダ)ループ」を研究しました。
 - 経験や実績がある組織の改善に向く「PDCAサイクル」とは別の考え方で、状況に応じて臨機応変に現場で方針を作り、進化させるマネジメントシステムとしての「OODAループ」理論やそれを発展させた「DOODA(ドゥーダ)ループ」について、「OODAループ」(2019年:チェット・リチャーズ東洋経済)などの文献研究を行いました。
 - 研究の成果を医療福祉生協のまちづくりと組織づくり論に応用した「医療福祉生協のDOODA(ドゥーダ)ループ戦略」をまとめています。

(2) 教育・研修事業

1) 講師派遣活動

- 藤谷専務、高橋副所長が、講師活動を行いました。

テーマ	4～9月	10～3月	合計
まちづくり	1	2	3
介護事業	1	2	3
医療事業			0
社会保障	1	1	2
医療福祉生協論	1	2	3
MBO		1	1

(3) 広報・出版事業

1) 出版物・報告書の発行

① ばいぬ島共生意識・要求調査報告書の作成

- 沖縄県竹富町で行なった「ばいぬ島共生意識・要求調査報告書」の行政報告版40部、一般報告版120部を発行しました。

2) 広報活動

① ホームページ

- 2018年度は、ホームページ(2015年11月開設)を14回更新し、研究所の活動のほか、イベントや出版物を紹介しています。

② メールマガジン

- 会員メールマガジン(2016年2月開設)は、2018年度26号を発行し、通算95号になりました。国の政策の情報提供やARSVITAの活動報告を行っています

③ フェイスブック

- フェイスブック(2016年1月開設)で研究所の活動内容の紹介や医療福祉関連の政策とそれに関するコメントの発信を行っています。2018年度は、23回発信しました。

(4) 運動・事業連携

1) 他団体との連携

- 沖縄県竹富町の産業振興課の企画に協力して9月9日の「ふるさと回帰フェア」に参加しました。
- 兵庫県高齢者生活協同組合から相談を受けMBOについての説明や理事会への提言を行いました。

2.5 2018 年度事業活動の評価

(1) 提案活動の強化が必要です。

- 本格的な研究活動の推進のためには、ARSVITAの実績の普及とそれぞれの自治体、団体向けの提案を強化する必要があります。
- 医療福祉生協のまちづくりや組織に関する理論、自治体の地域再生に関する手法などを提案し、ともに取り組んで理論や手法のブラッシュアップを図る必要があります。

(2) 会員の拡大が発展の基礎となります。

- ARSVITAの存在そのものがまだ知られていません。
- ARSVITAの活動を知らせるニュースレター、理論的活動のアーカイブを載せるブログなどの発行を行い、理解を広げる必要があります。
- 単発の事業や相談で繋がりのある団体に加入のお誘いをする必要があります。

(3) 累積欠損の解消が必要です。

- 2018年度は初めての剰余が出ました。
- 500万円を超える欠損の解消が発展の土台となります。

【第1期から第4期までの経営成績の推移】

期 自～至 年 月 日	1 2015.7.7～ 2016.3.31	2 2016.4.1～ 2017.3.31	3 2017.4.1～ 2018.3.31	4 2018.4.1～ 2019.3.31
経常収益	7,757,418	5,051,693	6,849,516	10,047,438
受取会費	545,000	683,880	770,000	675,000
受託事業収益	6,912,322	4,367,789	6,044,658	9,283,910
その他事業収益	300,096	24	34,858	88,528
経常費用	8,334,455	8,909,200	7,628,122	9,977,420
役員報酬	1,600,000	2,400,000	400,000	0
給与手当	640,000	1,320,000	2,550,000	2,470,813
旅費交通費	3,423,888	3,047,161	2,506,405	3,065,454
その他経費	2,670,567	2,142,039	2,171,717	4,441,153
評価損等調整前当期経常増減額	-577,037	-3,857,507	-778,606	70,018
営業外収益	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-577,037	-3,857,507	-778,606	70,018
一般正味財産期首残高	0	-577,037	-4,434,544	-5,213,150
一般商務財産期末残高	-577,037	-4,434,544	-5,213,150	-5,143,132

2.6 2018 年度決算報告

一般社団法人地域医療・福祉研究所 損益計算書 (円)

		科目	2018年度 決算	2018年度 予算	2017年度 決算	収益 比	予算比	前年比	
一般正味財産増減の部	経常収益	受取会費							
		個人会費	175,000	500,000	270,000	1.7%	35.0%	64.8%	
		団体会費	500,000	500,000	500,000	5.0%	100.0%	100.0%	
		受取会費合計	675,000	1,000,000	770,000	6.7%	67.5%	87.7%	
		事業収益							
		受託事業収益	9,264,870	5,000,000	4,741,956	92.2%	185.3%	195.4%	
		講演事業収益	0	1,000,000	278,320	0.0%	0.0%	0.0%	
		出版事業収益	19,040	5,000,000	1,024,382	0.2%	0.4%	1.9%	
		事業収益合計	9,283,910	11,000,000	6,044,658	92.4%	84.4%	153.6%	
		雑収益							
	受取利息	14	25	5	0.0%	56.0%	280.0%		
	雑収益	88,514	0	34,853	0.9%				
	雑収益合計	88,528	25	34,858	0.9%	354112.0%	254.0%		
	経常収益計	10,047,438	12,000,025	6,849,516	100.0%	83.7%	146.7%		
	経常増減の部	事業費	役員報酬	0	1,080,000	280,000	0.0%	0.0%	0.0%
			給与手当	1,595,407	1,320,000	1,680,000	15.9%	120.9%	95.0%
			会議費	166,994	30,000	10,531	1.7%	556.6%	1585.7%
			保険料	0	16,000	0	0.0%	0.0%	
			旅費交通費	2,816,747	175,000	2,216,773	28.0%	1609.6%	127.1%
			通信運搬費	139,929	150,000	43,211	1.4%	93.3%	323.8%
消耗什器備品費			0	60,000	0	0.0%	0.0%		
消耗品費			251,387	28,000	54,530	2.5%	897.8%	461.0%	
印刷製本費			188,461	700,000	739,565	1.9%	26.9%	25.5%	
光熱水料費			34,807	14,000	21,014	0.3%	248.6%	165.6%	
賃借料			0	168,000	33,600	0.0%	0.0%	0.0%	
交際費			29,763	80,000	41,088	0.3%	37.2%	72.4%	
修繕費			0	0	28,000	0.0%		0.0%	
業務委託費			2,513,558	720,000	373,276	25.0%	349.1%	673.4%	
広告普及費			136,080	210,000	138,243	1.4%	64.8%	98.4%	
租税公課		0	1,050	22,470	0.0%	0.0%	0.0%		
法人税等		615,900	0	98,600	6.1%		624.6%		
雑費		25,921	72,000	184,769	0.3%	36.0%	14.0%		
事業費合計		8,514,954	4,824,050	5,965,670	84.7%	176.5%	142.7%		
管理費		役員報酬	0	1,320,000	120,000	0.0%	0.0%	0.0%	
	給与手当	875,406	1,080,000	870,000	8.7%	81.1%	100.6%		
	会議費	3,929	70,000	2,869	0.0%	5.6%	136.9%		
	旅費交通費	248,707	3,325,000	289,632	2.5%	7.5%	85.9%		
	通信運搬費	34,632	50,000	18,519	0.3%	69.3%	187.0%		
	消耗什器備品費	0	40,000	0	0.0%	0.0%	#DIV/0!		
	消耗品費	75,229	12,000	36,353	0.7%	626.9%	206.9%		
	光熱水料費	14,917	6,000	9,006	0.1%	248.6%	165.6%		
	賃借料	0	72,000	14,400	0.0%	0.0%	0.0%		
	交際費	9,151	20,000	10,281	0.1%	45.8%	89.0%		
	修繕費	0	0	12,000	0.0%		0.0%		
	業務委託費	133,812	80,000	136,404	1.3%	167.3%	98.1%		
	広告普及費	58,320	90,000	59,247	0.6%	64.8%	98.4%		
	租税公課	0	450	9,630	0.0%	0.0%	0.0%		
	雑費	8,363	28,000	74,111	0.1%	29.9%	11.3%		
管理費合計	1,462,466	6,193,450	1,662,452	14.6%	23.6%	88.0%			
経常費用計	9,977,420	11,017,500	7,628,122	99.3%	90.6%	130.8%			
当期経常増減額	70,018	982,525	-778,606	0.7%	7.1%	-9.0%			
当期一般正味財産増減額	70,018	982,525	-778,606	0.7%	-1112.0%	-9.0%			
一般正味財産期首残高	-5,213,150	-5,213,150	-4,434,544	-51.9%	85.1%	117.6%			
一般正味財産期末残高	-5,143,132	-4,230,625	-5,213,150	-51.2%	101.4%	98.7%			

3 第2号議案 アルスヴィータ 2019年度事業計画並びに予算

3.1 地域医療・福祉をめぐる情勢の特徴

(1) 新自由主義・グローバリズム資本主義を乗り越え、「自治体戦略 2040 構想」に対応する地域戦略が必要

- ① 安倍政権のすすめる戦争政策やアベノミクス、嘘やごまかしによる不正に満ちた政治と国民の願い、生活との矛盾はますます拡大し、様々な分野で国民がまともな政治を求めて立ち上がる状況が広がっています。
- ② 東京周辺とその他の地域では状況が大きく違ってきています。東京周辺以外では、人口減少や超高齢化などの問題を解決する地域ごとの戦略づくりが求められています。一方東京周辺では、人口流入や地価の高騰などによる暮らしにくさ、若者や保育・子育て対策の戦略が求められています。
- ③ 「自治体戦略 2040 構想」によって進められる自治体の新自由主義的再編の動きを住民と自治体の協働で打ち破ることが大事になっています。

(2) 国の社会保障削減政策が地域の暮らし、医療・福祉を破壊している

- ① 社会保障費の削減策は医療福祉の実態との矛盾を広げ、合理性の限界を超えています。
- ② 地域の貧困対策と格差是正、健康不安の解消、孤立防止が焦眉の課題です。
- ③ 基礎自治体の社会保障政策ととりくみを支援する必要があります。
- ④ 地域住民が自主的に医療・福祉を確保する運動をつくる必要があります。

(3) 地域医療構想、医師の働き方改革などへの対応が求められる

- ① 国民健康保険制度の改革が、皆保険制度の維持に直結しています。
- ② 政府の「『我が事・丸ごと』地域共生社会」は、国の責任を放棄して自治体や住民に役割を押しつけており、住民主体の地域包括ケアとは対立します。
- ③ 社会保障の充実による地域包括ケア戦略と事業づくりが求められています。
- ④ 医師不足は続き、医師の働き方改革は本来の目的を達成していません。医療・介護の労働に対する正当な評価や報酬制度、労働基準の順守などが求められています。

3.2 2019 年度事業活動の重点

2019 年度は、以下の3点を重点として活動します。

(1) 新たな住民参画のコミュニティ福祉モデルをつくる

- ① 沖縄県竹富町での「ゆいまーるワークショップ」の実施
- ② 南大東村と村社会福祉協議会の「うふあがり共生社会」づくり支援
- ③ 寄りあいワークショップの医療福祉分野への応用
- ④ 自治体の「地域診断」を行い、その結果をもとにした福祉政策の提案

(2) 会員の事業に資するコンサルティング事業を拡大する

- ① 福祉クラブ生協の「施設事業推進プロジェクト」の支援
- ② 生活協同組合・消費者住宅センターの組合員アンケート調査の実施
- ③ 寄りあいワークショップの医療福祉生協への応用

(3) 理論研究活動を論文・書籍化し、実践活動に着手する

- ① 「診療所生協法人経営実績調査 (clinic co-op management survey:CCMS)」の実施
- ② 「新自由主義に対抗する医療福祉生協のまちづくり・組織論」の進化
- ③ 「出あい・ふれあい・支えあい」の「三つめあいメソッド」のブラッシュアップ
- ④ 「医療福祉生協の DOODA(ドゥーダ)ループ戦略」の進化

3.3 ARSVITA の運営

(1) 会員について

- ① 賛助会員を 7 団体(+2団体)、個人会員 50 人(+10 人)にします。
 - 団体会員の拡大のために新たな会員サービスを検討します。
 - 学生・若者の加入を重視します。
- ② 研究者の加入を推進し、調査研究活動を前進させます。
 - 研究者、実践家との共同研究や交流を進めます。
 - 若者・学生がアルスヴィータの研修や教育プログラムに参加して成長し、医療・福祉の担い手になるよう支援します。

(2) 理事会の運営

- 2019年度は、定例理事会を3回開催します。
- 理事会には事務局も参加して、事業の進捗や理論研究の到達状況、今後の方向性などについて論議します。

(3) 事務局の活動

- ZOOMなどを活用したTV会議などで事務局会議の開催数を増やし、受託事業の任務分担に沿った業務点検や自主研究の到達状況の交流、発表等を行います。
- 毎月の決算をもとに顧問会計士との連携を強めて経営管理を強めます。
- 外部研究者との連携づくりや研究会等へ参加を積極的に行います。

3.4 2019 年度事業計画

(1) 調査・研究事業

1) 自治体等からの調査研究受託および助成事業

① 竹富町での「ゆいまーるワークショップ」を受託実施

- 竹富町の西表島西表地区と黒島でゆいまーるワークショップを開催します。
- 西表地区・黒島での新たな福祉サービスの事業化の支援します。

② 南大東村社会福祉協議会の支援

- 南大東村社会福祉協議会の伊佐隆夫事務局長と協議して、社協の事業と村の高齢者福祉・介護計画「うふあがり共生元気むら」の推進を支援します。

2) 会員団体等からの調査研究受託

① 福祉クラブ生協の「施設事業推進プロジェクト」の支援を受託実施

- 2018年11月より実施している「施設事業推進プロジェクト」の支援を継続します。
- 小規模多機能型居宅介護、小規模と認知症のデイサービス、有料老人ホームの運営のあり方や経営改善の方向性、ワーカーズコレクティブという働き方の特徴とその活かし方などについて積極的な提言を行ないます。

② 生活協同組合・消費者住宅センターの「住まいの困ったアンケート」を受託実施

- 生活協同組合・消費者住宅センターから組合員アンケートの作成を受託します。

- これを受託して調査分析を行い、生活協同組合・消費者住宅センターの発展に寄与します。
- ③ **生活協同組合・消費者住宅センターの「WEB広報」活動を支援**
- 生活協同組合・消費者住宅センターのWEB広報活動を支援します。
 - フェイスブック、公式ラインアカウントなどのSNSや映像を活用した、組合員との交流、宣伝活動の強化に寄与します。

3) その他の調査研究事業

① **沖縄県との懇談**

- 定期的に沖縄県庁の子供生活福祉部、高齢者福祉介護課、福祉政策課を訪問し、沖縄県の介護保険事業や離島の地域共生事業の状況などについて懇談します。

② **離島自治体の視察と自治体等への提案活動**

- 沖縄県の離島自治体で島尻郡の慶良間諸島(渡嘉敷村、座間味村)、粟国村、伊平屋村、伊是名村、久米島町などの視察・調査と「共生意識・要求調査」、「寄りあいワークショップ」の実施提案などを行います。
- 沖縄県以外の離島自治体の視察・調査、「共生意識・要求調査」の実施提案などを行います。

③ **2019年度「診療所生協法人経営実績調査(CCMS:クコムス)」の実施**

- 引き続き、医療福祉生協連に加入している診療所法人に調査協力を依頼して「診療所生協法人経営実績調査(clinic co-op management survey:クコムス)」を行います。
- 集計結果をそれぞれの法人ごと分析し、8月末までに全法人に送付します。

④ **『地域診断』の技法に基づく調査活動**

- 地域医療振興協会、ヘルスプロモーション研究センターの「地域診断」の手法を活用した調査をARSVITAの関連自治体で実施し、結果をそれぞれのARSVITA関連団体に提供します。

⑤ **診療報酬、介護報酬等の改定に関する調査・研究**

- 医療、介護、障害者にかかる報酬制度の内容を関係する自治体や協同組合に発信し、講師活動等を行います。

⑥ **自主研究(1):「寄りあいワークショップ」の研究**

- 山浦晴男先生提唱の「寄りあいワークショップ」の研究を進め、会員団体に普及します。
- 寄りあいワークショップの「内発型地域再生手法」を福祉のサービスづくりに応用するプロトタイプを検討します。
- 2019年6月から徳島県阿南市加茂谷地区で行われる「あわの農山漁村魅力創生事業」の寄りあいワークショップに視察参加し、実践のノウハウを学びます。
- 寄りあいワークショップの様態をプロモーションビデオにまとめ普及に協力します。

⑦ 自主研究(2):「自治体戦略2040構想」の研究

- 総務省の「自治体戦略2040構想研究会」の報告書の分析研究を行います。
- 自治体問題研究所の岡田知弘先生などから自治体政策を学ぶ機会をつくり、研究員の専門機関、大学院への派遣を検討します。

⑧ 自主研究(4):「新自由主義に対抗する医療福祉生協のまちづくり・組織論」の進化

- 医療福祉生協の新しいまちづくりと組織づくり論として「新自由主義に対抗する医療福祉生協のまちづくり・組織論」試論を完成させます。

⑨ 自主研究(5):「出あい・ふれあい・支えあい」の「三つめあいメソッド」のブラッシュアップ

- 医療福祉生協のまちづくり手法として「出あい・ふれあい・支えあい」の「三つめあいメソッド」を提唱し、ブラッシュアップしながら普及します。

⑩ 自主研究(6):「OODA(ウーダ)ループ」の研究

- 組織マネジメントの理論と手法として「OODA(ウーダ)ループ」を医療福祉生協のまちづくりと組織づくり論に応用した「医療福祉生協のDOODA(ドゥーダ)ループ戦略」を研究します。

⑪ 自主研究(7):ネパールの医療福祉の現状の研究

- 人的なつながりを活かして、ネパールで医療活動を行っているフェクトネパールの活動を学びます。条件に応じてフェクトネパールの支援を検討します。

(2) 教育・研修事業

1) セミナーの開催

- 「寄りあいワークショップ」「三つめあいメソッド」「新自由主義に対抗する医療福祉生協のまちづくり・組織論」などのセミナーの開催を検討します。

2) 講師派遣活動

- 藤谷専務、高橋副所長を中心に講師活動を行います。

(3) 広報・出版事業

1) 出版物・報告書の発行

- ① 「福祉サービスのための寄りあいワークショップ」「三つめあいメソッド」「新自由主義に対抗する医療福祉生協のまちづくり・組織論」などの出版を検討します。
- ② 小規模多機能型居宅介護の運営のテキストの出版を行います。

2) 広報活動

- ① ホームページ
 - ホームページ(2015年11月開設)の更新回数を月3回程度に増やします。
- ② メールマガジン
 - 会員メールマガジン(2016年2月開設)の月2回発行を実現します。
- ③ フェイスブック
 - フェイスブック(2016年1月開設)で研究所の活動内容の紹介や医療福祉関連の政策とそれに関するコメントの発信を行います。週2回程度の発信を目指します。
- ④ ブログ
 - ARSVITAの理論活動や研究成果のアーカイブとして公式ブログを立ち上げます。
- ⑤ 動画の配信
 - ARSVITAの活動を知らせる動画をユーチューブなどで発信します。

(4) 運動・事業連携

2) 他団体との連携

- 沖縄県竹富町の人材募集に協力します。
- 趣旨を同じくする研究団体などへの参加を検討します。

3.5 2019 年度予算

一般社団法人地域医療・福祉研究所 損益予算

(円)

科 目		2019 年度予算	2018 年度決算	収益比	前年比			
一般正味財産増減の部	經常増減の部	受取会費	個人会費	250,000	175,000	2.8%	142.9%	
			団体会費	700,000	500,000	7.8%	140.0%	
			受取会費合計	950,000	675,000	10.6%	140.7%	
		事業収益	受託事業収益	6,000,000	9,264,870	66.7%	64.8%	
			講演事業収益	1,000,000	0	11.1%		
			出版事業収益	1,000,000	19,040	11.1%	5252.1%	
		事業収益合計	8,000,000	9,283,910	88.9%	86.2%		
		雑収益	受取利息	5	14	0.0%	35.7%	
			雑収益	50,000	88,514	0.6%	56.5%	
			雑収益合計	50,005	88,528	0.6%	56.5%	
		經常収益計		9,000,005	10,047,438	100.0%	89.6%	
		經常費用	事業費	役員報酬	510,000	0	5.7%	
				給与手当	2,000,000	1,595,407	22.2%	125.4%
				会議費	150,000	166,994	1.7%	89.8%
				保険料	1,000	0	0.0%	
				旅費交通費	2,000,000	2,816,747	22.2%	71.0%
通信運搬費	150,000			139,929	1.7%	107.2%		
消耗什器備品費	150,000			0	1.7%			
消耗品費	200,000			251,387	2.2%	79.6%		
印刷製本費	200,000			188,461	2.2%	106.1%		
光熱水料費	35,000			34,807	0.4%	100.6%		
交際費	30,000			29,763	0.3%	100.8%		
修繕費	0			0	0.0%			
業務委託費	1,000,000			2,513,558	11.1%	39.8%		
広告普及費	200,000			136,080	2.2%	147.0%		
租税公課	1,000			0	0.0%			
法人税等	300,000			615,900	3.3%	48.7%		
雑 費	30,000	25,921	0.3%	115.7%				
事業費合計		6,957,000	8,514,954	77.3%	81.7%			
管理費	役員報酬	90,000	0	1.0%				
	給与手当	400,000	875,406	4.4%	45.7%			
	会議費	10,000	3,929	0.1%	254.5%			
	旅費交通費	300,000	248,707	3.3%	120.6%			
	通信運搬費	50,000	34,632	0.6%	144.4%			
	消耗什器備品費	0	0	0.0%				
	消耗品費	12,000	75,229	0.1%	16.0%			
	印刷製本費	0	0	0.0%				
	光熱水料費	15,000	14,917	0.2%	100.6%			
	交際費	10,000	9,151	0.1%	109.3%			
	修繕費	0	0	0.0%				
	業務委託費	150,000	133,812	1.7%	112.1%			
	広告普及費	30,000	58,320	0.3%	51.4%			
	租税公課	10	0	0.0%				
雑 費	10,000	8,363	0.1%	119.6%				
1,077,010		1,462,466	12.0%	73.6%				
管理費合計		9,977,420	89.3%	80.5%				
經常費用計		8,034,010	70,018	10.7%	1379.6%			
当期經常増減額		965,995	0,018	10.7%	1379.6%			

3.6 2019 年度活動計画

年 月	行 事	定例研究会・理事会等
2019 年		
4 月	竹富町ぱいぬ島“結”カフェ、町長への報告会 「今こそ地域診断」セミナー参加 福祉クラブ生協「施設事業推進プロジェクト」	
5 月	福祉クラブ生協「施設事業推進プロジェクト」	
6 月	竹富町「ゆいまーるワークショップ」打ち合わせ 徳島県加茂谷地区寄りあいワークショップ参加 福祉クラブ生協「施設事業推進プロジェクト」	社員総会 理事会①
7 月	福祉クラブ生協「施設事業推進プロジェクト」 CCMS 実施	
8 月	福祉クラブ生協「施設事業推進プロジェクト」 新しい医療福祉生協まちづくり・組織論セミナー	
9 月	福祉クラブ生協「施設事業推進プロジェクト」 「三つめあいメソッド」セミナー	理事会②
10 月	生協・消費者住宅センターアンケート実施 竹富町「ゆいまーるワークショップ」	
11 月	竹富町「ゆいまーるワークショップ」	
12 月	竹富町「ゆいまーるワークショップ」 2020 予算作りセミナー	
2020 年		
1 月	竹富町「ゆいまーるワークショップ」	
2 月	竹富町「ゆいまーるワークショップ」報告会新しい医療福祉生協まちづくり・組織論セミナー	理事会③
3 月	離島視察ツアー	

4 第3号議案 役員改選

4.1 監事の交代について

設立時監事の吉岡尚志氏より退任の申し入れがあり、監事を高橋智憲氏に交代する。

2018年度 活動日誌

年	日付	調査研究	コンサルティング	出版	教育・講演	理事会・他
2018年	4/11～16	竹富町訪問				
	4/19～21		新潟医療生協訪問			
	4月26日		けいはん医療生協幹部育成研修			
	4月27日		なにわ保健生協懇談			
	5月7日					桑原税理士法人面談
	5月13日		北多摩医療生協懇談			
	5/15～19		けいはん医療生協幹部育成研修 視察			
	6月4日		東京西部保健生協面談			
	6月11日		北多摩医療生協面談			
	6月14日					第4回社員・第1回理事会
	6月15日	竹富町調査補助申請				事務局会議
	7月6日		けいはん医療生協幹部育成研修 修了式打ち合わせ			
	7月26日		けいはん医療生協幹部育成研修 修了式			
	8月7日		けいはん医療生協 組織改善提案			
	8/10～15	竹富町訪問				
	8月16日	沖縄県庁訪問				
	8/24～25		けいはん医療生協 組織論プレゼン・報告			
	9/1～6		CMI作成			
	9月9日	ふるさと回帰フェア				事務局会議
	9月10日					第2回理事会
	9月16日		けいはん医療生協 寝屋川支部支援			
	10月1日		けいはん医療生協 寝屋川支部支援			
	10月2日		なにわ保健生協 組織懇談会			
	10/3～21	竹富町 第一次ばいぬ島共生意識・要求調査				事務局会議
	10月23日		けいはん医療生協 寝屋川支部長会議支援			
	10月29日					福祉クラブ生協講演 地域包括ケア実現に向けた行政の動向
	11/6～21	竹富町 第二次ばいぬ島共生意識・要求調査				事務局会議
	11月26日		けいはん医療生協 寝屋川支援			
	11月30日		福祉クラブ生協 施設事業推進プロジェクト			
	12/5～14	竹富町 第三次ばいぬ島共生意識・要求調査				事務局会議
12月12日		福祉クラブ生協 施設事業推進プロジェクト				
12/15～17	南大東島訪問					
12月18日		福祉クラブ生協 施設事業推進プロジェクト				
12月18日		けいはん医療生協 寝屋川支援				
12月28日		福祉クラブ生協 監事会				
2019年	1月15日		福祉クラブ生協施設事業推進プロジェクト視察			
	1月17日		福祉クラブ生協施設事業推進プロジェクト メロディ館視察			
	1月18日				兵庫県高齢者生協 MBO講演	
	1月19日		福祉クラブ生協施設事業推進プロジェクト コア北鎌倉視察			
	1月22日		福祉クラブ生協施設事業推進プロジェクト 視察			
	1月26日	竹富町ばいぬ島共生意識・要求アンケート 分析				第3回理事会・事務局会議
	1/27～8		松島医療生協など懇談			
	1月30日		福祉クラブ生協施設事業推進プロジェクト 視察			
	2/4～6	竹富町打ち合わせ				桑原税理士法人 面談
	2月6日		福祉クラブ生協 施設事業推進プロジェクト			
	2月7日		福祉クラブ生協施設事業推進プロジェクト 視察			
	2月16日		けいはん医療生協組織論講演			
	2/21～3/2	ばいぬ島共生意識・要求アンケート 報告書作成				事務局会議
	2月22日		福祉クラブ生協施設事業推進プロジェクト			
	2月23日	山浦先生と面談				
	2/28～3/1			ばいぬ島共生意識・要求アンケート報告書 印刷		
	3/3～16	ばいぬ島”結”カフェ				事務局会議
	3月12日		福祉クラブ生協施設事業推進プロジェクト視察			
3月17日	沖縄県庁訪問					
3/18～19	久米島訪問					
3月22日		福祉クラブ生協施設事業推進プロジェクト視察				